

KONAN UNIVERSITY

献辞

著者	馬場 大治
雑誌名	甲南経営研究
巻	54
号	1
発行年	2013-07-30
URL	http://id.nii.ac.jp/1260/00002103/

献辞

鶴身潔先生は、平成25年3月31日をもって本学を定年退職されました。先生は、昭和42年神戸商科大学商経学部をご卒業、同年4月神戸大学大学院経済学研究科にご進学、昭和46年4月に、大学院博士課程に在学中に甲南大学経営学部助手として着任されました。

爾来、先生は甲南大学経営学部一筋に職業生活を歩まれ、本学の在職年数は、実に42年におよびます。その間、研究、教育、および大学行政にわたって活躍され、本学ならびに学界の発展に大きく貢献されました。

先生は、「金融論・金融機関論」を中心とした研究テーマに精進を続け、優れた研究成果を発表されてきました。その成果は、金融政策、金融システム、金融機関の経営行動、金融規制・改革など、極めて幅広い研究領域にわたっています。これらは、金融をめぐる時代の環境変化に対応した諸問題を論究・分析したもので、その学風は緻密と論理に裏付けられています。また、常に先端の研究分野をフォローされ、地道に理論と実証の整理・統合、体系化を図ってこられました。そのご研究は、学界でも高く評価され、斯学の学問的水準の向上に貢献してきたことは言うまでもありません。

鶴身先生の教育活動は、甲南大学も例外ではあり得なかった大学紛争期に始まります。爾来、甲南大学および経営学部の教育の様々な流れのなかで、たえず教育内容や教員組織のあり方について改革・改善を唱えてこられました。着任以来終始一貫して、担当してきた講義においては、その明解かつ真摯な、そして厳しさの中に人間味豊かなものを多くの学生に与えてこられました。教育・指導に多くの情熱を注いでこられた先生は、良き教育人生であったと述懐されています。また研究演習活動を通じて、592名におよぶ有為な人材を育成し、甲南OB・OGとして社会に輩出されてこられました。

さらに鶴身先生は、42年間の在職期間において、多くの要職を歴任し、甲南大学および甲南学園の発展に多大な貢献を行われました。すなわち、若干42才で教務部長に就任されたのを皮切りに、事務局参与、就職部長、学長補佐を歴任されました。さらに学部においては、経営学部長、大学院社会科学研究科経営学専攻主任として、学部の発展に寄与されました。とりわけ、先生の経営学部長在任中は、阪神・淡路大震災直後の苦難の時期であり、その復興・再生に立ち向かって、重責を果たさされました。そして、平成21年から24年にかけては、副学長として大学全体のかじ取りの中心を担われました。この間、甲南学園評議員、理事、常任理事も歴任され、指導的立場から実に20年以上の永きにわたり、甲南学園、ならびに、甲南大学の教育研究環境の整備・充実に尽力されました。

先生は定年退職で本学を去られたわけですが、大学および大学院のあり方が改めて問われ、改革の必要性が叫ばれる今日、冷静沈着で本質を突いた先生の教授会でのご意見のありがたさを、われわれ経営学部教授会構成員の一同は痛感しております。また、学生運動や阪神・淡路大震災といった激動の時期を乗り越えられてきた先生から、大学運営に関する様々な事どもを教えていただいたことに関して、一同、感謝の言葉もありません。

私どもは、先生のご退職に際し、本学、ならびに、本学会へのご業績に敬意を表し、また、ここから感謝の意を込めまして、ここに本論文集をささげたいと存じます。

鶴身先生のますますのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

甲南大学経営学部長

甲南大学経営学会会長

馬 場 大 治